

# Uploader for Movable Type

## 取扱説明書

株式会社 cherry-pick

## 目次

1:はじめに.....	3
1-1: 本取扱説明書について .....	3
1-2 : Uploader for Movable Type とは.....	4
1-3 : 動作環境.....	5
2 : インストール .....	6
2-1 : Uploader のインストール.....	6
2-2 : システムメニューのプラグイン設定 .....	7
2-3 : ライセンスキーの登録.....	8
2-4 : ウェブサイト/ブログのプラグイン設定 .....	9
3 : 使い方 .....	12
3-1 : ファイルのダウンロード .....	12
3-2 : ファイル転送.....	13
3-3 : 予約配信.....	14

## 1:はじめに

### 1-1: 本取扱説明書について

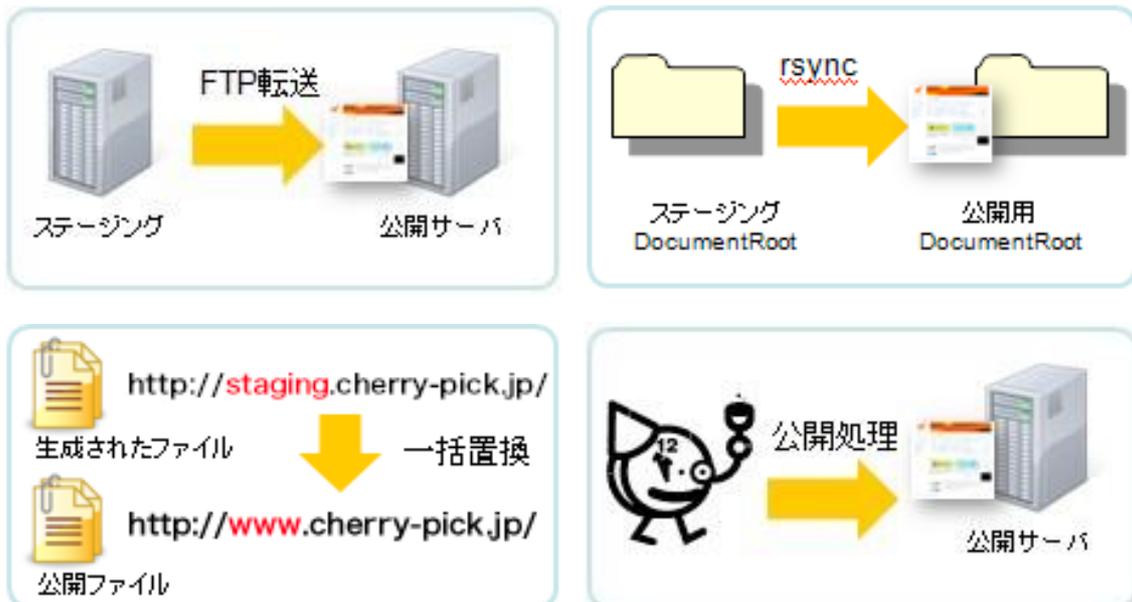
本書は、Movable Type Professional バージョン 5.0 以上を使用して Web サイトを制作、もしくは運用されている方を対象としています。

3 章以降では、「Uploader for Movable Type」のインストール、ご利用の Web サーバ環境に合わせた設定方法、具体的な使用例について、具体的な操作手順を踏まえながら解説いたします。

## 1-2 : Uploader for Movable Type とは

「Uploader for Movable Type」は、Movable Type による Web サイト運用を支援するために開発された MT プラグインです。

FTP 経由でのリモートサーバへのファイル転送や、同一サーバにおけるステー징環境の構築、ファイル転送に伴う一括置換処理、予約配信、公開用ファイルの圧縮ダウンロードなどの機能を備えています。



## 1-3 : 動作環境

「Uploader for Movable Type」は次の環境で動作します。

- Movable Type Professional 5.0 以上
- OS は Linux 系
- Web サーバの実行ユーザーが次のコマンドを実行できること

`rsync, lftp, mv, cp, rm, find, sed, xargs, tar, zip`

## 2 : インストール

### 2-1 : Uploader のインストール

はじめに、Uploader を以下の URL からダウンロードします。

<https://www.cherry-pick.jp/mt-plugins/uploader/>

次に、ダウンロードしたファイルを解凍し、MT\_DIR/plugins ディレクトリに Uploader ディレクトリをアップロードします。

MT\_DIR/plugins/Uploader/uploader.cgi に実行権限を付与します。

## 2-2：システムメニューのプラグイン設定

Uploader はダウンロード/ファイル転送を行う前に、環境ごとに変換すべき内容を一括置換することができます。

そのため、転送対象となるファイルを一度コピーし、置換処理を行った後に転送処理を行いません。

ここでは、転送対象ファイルのコピー先ディレクトリを設定します。

[システム]→[ツール]→[プラグイン]→[Uploader X.XX]→[設定]を開きます。



Uploader 1.394

有効 無効

詳細 設定

試用期間 残り 42 日

ライセンスキー XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

メールアドレス oikawa@cherry-pick.jp

**ライセンスキーを登録する**

テンポラリディレクトリ /var/www/html/mt/plugins/Uploader/tmp  
書き込み可能なテンポラリディレクトリのパスを指定して下さい。

リトライ回数 3  
予約転送の失敗時にリトライする回数を指定してください。

Unix コマンド 必要なすべてのUNIXコマンドが利用可能です。

**変更を保存**

「テンポラリディレクトリ」に書き込み可能なディレクトリをフルパスで入力し、「変更を保存」ボタンを押します。

## 2-3：ライセンスキーの登録

ライセンスキーを購入されている場合は、「ライセンスキー」に送付されたライセンスキーを、「メールアドレス」に MT の管理者のメールアドレスを入力し、「ライセンスキーを登録する」ボタンを押します。

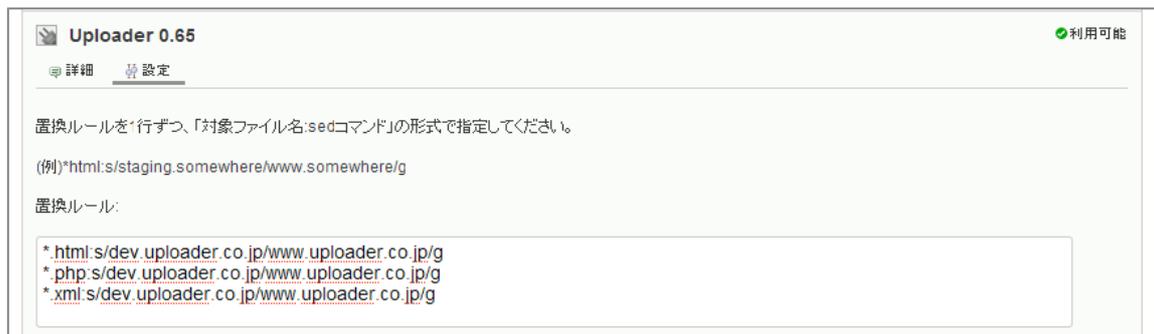
The screenshot shows the 'Uploader 1.394' interface. At the top, there are tabs for '詳細' (Details) and '設定' (Settings). Below the tabs, it indicates '試用期間 残り 42 日' (Trial period, 42 days remaining). The form contains the following fields:

- ライセンスキー** (License Key): A text input field containing 'XXXX-XXXX-XXXX-XXXX', highlighted with a red box.
- メールアドレス** (Email Address): A text input field containing 'oikawa@cherry-pick.jp'.
- ライセンスキーを登録する** (Register License Key): A blue button with white text, highlighted with a red box.
- テンポラリディレクトリ** (Temporary Directory): A text input field containing '/var/www/html/mt/plugins/Uploader/tmp', with a note below it: '書き込み可能なテンポラリディレクトリのパスを指定して下さい。' (Please specify the path of a writable temporary directory).

## 2-4： ウェブサイト/ブログのプラグイン設定

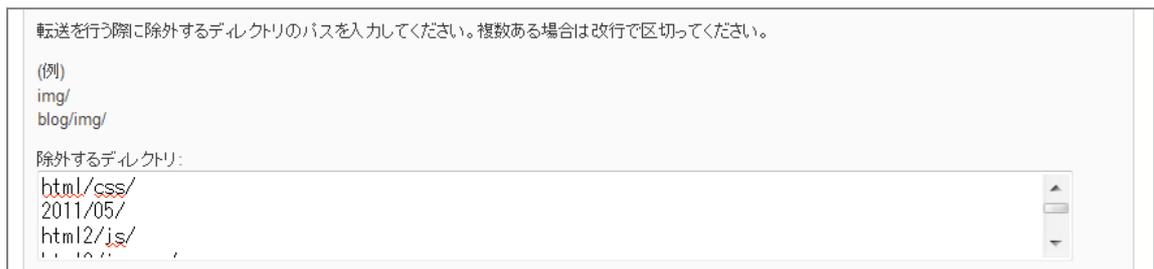
Uploaderの転送機能は、ウェブサイト/ブログごとに設定することができます。  
すなわち、ウェブサイト/ブログのサイトパス以下のファイルが転送対象です。  
ここでは転送対象のウェブサイト/ブログのプラグイン設定の手順を説明します。

[転送対象のブログ]→[ツール]→[プラグイン]→[Uploader X.XX]→[設定]を開きます。



「置換ルール」に任意のルールを設定します。

転送したくないディレクトリやファイルがある場合、「除外するディレクトリ、ファイル」にウェブサイト・ブログのサイトパスからの相対パスを改行区切りで入力します。



ダウンロードまたは転送前に実行したい Unix コマンドがあれば、設定します。

ダウンロードまたは転送前に実行されるカスタムアクションのコマンドを指定してください。

カスタムアクション:

ファイルをダウンロードする際の圧縮形式を選択することができます。

コンテンツをダウンロードするときの圧縮形式を選択してください。

圧縮形式:

ZIP形式

tar.gz形式

「転送方式」でファイルを転送する方法を選択します。リモートサーバへファイル転送を行う場合は「FTP アップロード(ftp)」を、同一サーバ内のディレクトリ間でファイルを転送する場合は「ローカル同期(rsync)」を選択します。

コンテンツを転送するときの方式を選択してください。

転送方式:

FTPアップロード(ftp)

ローカル同期(rsync)

「転送方式」で「FTP アップロード(ftp)」を選択した場合、FTP 情報を設定します。「FTP サーバ」、「FTP ユーザ名」、「FTP パスワード」を入力してください。

転送方式にFTPアップロードを選択した場合、FTP接続情報を指定してください。

FTPサーバ:

FTPユーザ名:

FTPパスワード:

リモートディレクトリ:

「転送方式」で「ローカル同期(rsync)」を選択した場合、「転送先ディレクトリ」をフルパスで設定します。

転送方式にローカル同期を選択した場合、転送先のディレクトリパスを指定してください。

転送先ディレクトリ:

「転送方式」で「ローカル同期(rsync)」を選択した場合、任意の「rsync コマンド」を実行することができます。（オプション）

転送方式にローカル同期を選択した場合、任意のrsyncコマンドを設定することができます。

rsyncコマンド:

cron などによる予約配信を行いたい場合、「バッチ処理による同期」で「同期する」にチェックを入れます。

設定が完了したら「変更を保存」ボタンを押し、設定を保存します。

run-periodical-tasksの実行によりこのブログのファイルを同期するかどうか指定してください。

バッチ処理による同期:

同期しない  同期する

[変更を保存](#)

## 3：使い方

### 3-1：ファイルのダウンロード

MT の再構築で生成したファイルを圧縮ダウンロードする場合の操作手順を説明します。対象とするブログの管理画面を開き、[アップロード]→[ダウンロード]をクリックします。

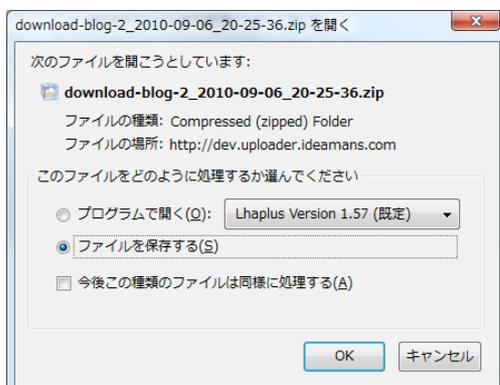


ダウンロード画面に遷移し、下記の画面が表示されるまで待ちます。

(※ファイルの量が多い場合は時間がかかることがあります)



しばらくすると、以下のようなダウンロードのウィンドウが表示され、ファイルを保存することができます。



### 3-2：ファイル転送

ファイル転送を行う場合は次の手順で操作を行ってください。

対象とするブログの管理画面を開き、[アップロード]→[転送]を開きます。



「転送開始」ボタンを押します。



転送が完了すると下記のような完了画面が表示されます。

(※ファイルの量が多い場合、画面が表示されるまで時間がかかることがあります)



### 3-3：予約配信

cron などを使用して、任意の時刻に `MT_DIR/tools/run-periodic-tasks` を実行すると、ブログのプラグイン設定で設定してある環境へファイル転送を行なうことができます。